

特殊詐欺の認知状況(令和元年11月末) ～11月は4件の被害を認知～

1 県内の特殊詐欺の認知状況 (令和元年11月末現在)

- 被害認知件数は**32件** (前年同期比-16件)
- 被害額は**約1億9,840万円** (前年同期比+約1億210万円)

2 令和元年11月の認知状況

- 被害認知件数は4件 (前年同月比-1件)
- 被害額は約620万円 (前年同月比+約4万円)
- 手口は
 - ・ オレオレ詐欺 (その他の名目) 2件
 - ・ 架空請求詐欺 (その他の名目) 1件
 - ・ 融資保証金詐欺 1件



3 11月の特殊詐欺事案

諫早市内の女性宅に、弟をかたる犯人から「会計士からお金を借りて株をしていたが、その会計士のところに税務署が入り、すぐにお金を返さなければならなくなったので200万円貸してほしい。」「税務署のマツイさんが受け取りに行くので渡してほしい。」などという電話があり、弟と信じた被害者が犯人から指定された場所で「税務署のマツイ」を名乗る犯人に現金200万円を手渡し、だまし取られたものです。

～警察からのお願い～

- 本年10月以降、県下全域において上記事案のように親族をかたるオレオレ詐欺の予兆電話が連続発生しています。
- 被害に遭わないためには、
 - ・ 親族を名乗る者からの電話であっても、お金の話は詐欺を疑い、家族や警察に相談する
 - ・ 在宅時でも留守番電話を設定し、心当たりのない番号からの電話には出ないようにする
 - ・ 迷惑電話被害防止機能のある電話機及び周辺機器を設置するなどの対策をとりましょう。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢		令和元年11月末(人)		
		男性	女性	計
0	～ 19	-	-	-
20	～ 29	-	-	-
30	～ 39	4	1	5
40	～ 49	1	1	2
50	～ 59	3	1	4
60	～ 64	1	2	3
65	～ 69	1	1	2
70	～ 79	4	5	9
80	～ 89	1	4	5
90	～	-	2	2
合計		15	17	32
うち65歳以上の高齢者		6	12	18

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和元年11月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	9
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	3
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	4
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	9
キャッシュカード受取型	5
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	2
合計	32